

竜王東小学校 学校関係者評価書

令和2年 2月 4日(火)

竜王東小学校 学校関係者評価委員会作成

学校関係者評価委員会

実施日：令和2年2月4日(火) 午後3時～

会 場：竜王東小学校 会議室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員：小沢美文，三井弘文，石田冬子，加藤富美子

保護者代表：塩谷正裕 (PTA 会長)，佐藤真理 (PTA 副会長)

(学校側)

渡辺良仁 (校長)，佐野紳二 (教頭)，中村忠廣 (教務主任)

* 欠席者：清水 勉 (学校評議員)，伊藤 毅 (PTA 副会長)

I 学校側から提案された内容

- ・学校の概要，学校の教育活動について
- ・学校評価の説明及び過年度との比較及び考察

II 協議された主な内容

①学校評価の結果について

- ・教師用・児童用・保護者用アンケート結果と考察
- ・地域や家庭での児童の生活実態について
- ・今後の課題について

②学校教育に関する事項について

- ・新学習指導要領の全面実施，少人数学級等への対応について
- ・児童の学校外での活動状況について
- ・児童の地域での様子について (挨拶，不審者への対応)

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・教職員の自己評価の結果は，全ての項目で肯定的評価 (A判定またはB判定) の割合が90%を超えており，評価の平均値も3.0ポイントを超えている。学校経営方針に基づき，学校教育目標の具現化に向けて，教職員の十分な理解のもとに教育活動が行われていると考えられる。

- ・「児童の表現力や主体性を育むための指導方法の工夫」「危機管理マニュアルの周知」「児童の発達段階に応じたキャリア教育の実施」「地域や保護者との連携推進」等については、来年度以降、更に改善に努めていくことが望まれる。
- ・児童アンケート，保護者アンケートの結果についても，ほとんどの項目で評価の平均値が3.0ポイントを超えており，学校の教育活動が適正に行われた結果，児童が学校生活を楽しい・充実していると考えており，保護者からも一定の理解を得られていると考えられる。
- ・「積極的な挙手・発言や分からないことへの質問」「宿題以外の自主学習への取組」「校外でのあいさつ」等の点については改善傾向が見られるものの引き続き課題となっており，改善のためのより一層の努力が求められる。
- ・今後も，児童の健全な成長に向けて学校と保護者，地域とが一体となり，「チーム竜王東小」として，相互の連携をより一層図りながら，協力して子どもたちの指導に当たっていく必要がある。

II 特徴

- ・教職員の自己評価，児童アンケート，保護者アンケートの結果はいずれも甲斐市全体の調査結果とほぼ同様の結果となっている。他の学校と比較しても竜王東小学校では適正な教育活動が行われており，児童や保護者からも一定の評価を得ていると考えられる。
- ・教職員の自己評価，児童アンケート，保護者アンケートのそれぞれの項目で関連の深い項目の評価を比較してみると，ほとんどの項目で三者の間に正の相関関係が見られる。学校の教育活動や子どもの学習・生活への関心が高い保護者が多いこと，学校の教育活動が児童や保護者に適正に評価されていることを示していると考えられる。
- ・地域に開放されている児童会行事や運動会，毎日の登下校の様子を見てみると，竜王東小学校では，上級生が下級生の面倒をよく見ている。このことが児童アンケート，保護者アンケートでの「学校は楽しい」という質問に対する評価の高さにつながっていると考えられる。
- ・児童アンケートでは「授業中に質問や意見を言っていますか」「授業で分からないことがあったら，先生に聞いていますか」の2つの質問に対する評価がやや低い。これらの項目の評価は経年的に見ても低い評価となっており，自分の考えを積極的に表現することが本校の児童の課題であると考えられる。教職員の自己評価を見ても，「質問や意見が出てくる授業を行っている」の評価はやや低めであり，教職員も指導の難しさを感じていることが分かる。

III 今後の課題として意識されたいこと

- 学校教育目標の達成状況について
 - ・このアンケートからは学校教育目標の達成状況が見えづらい。学校教育目標の達成状況が可視化できるような工夫をしてほしい。また，先生方にも学校教育目標の具現化に向けて，今後も頑張ってもらいたい。

- 新学習指導要領の全面実施に向けての対応について
 - ・新学習指導要領の全面実施に伴い、外国語教育やプログラミング学習など、新たな学習内容が数多く導入されるが、それらに対して教職員の増員などの措置が講じられるのかといった質問が出された。様々な報道がなされる中、児童や保護者の中でも不安を持っている人が少なからずいるようなので、先生方も研修等によりスキルアップを図ってほしい。
- 各種募集への応募状況について
 - ・甲斐市の広報等を見ても、各種募集に対する入賞者の割合が竜王東小学校は少ないのではないかという指摘をいただいた。募集への取組は長期休業中の課題として学年ごとに割り振って取り組んでいるが、子ども数自体が少ないので、入賞者も少なくなっている。習い事などで素晴らしい成績を残している児童も多くいるので、何らかの方法で地域の方にも情報を発信していきたい。
- 地域での挨拶について
 - ・不審者対応という面で、大人が声をかけても挨拶をしないことが逆に評価できるのではないかという声もあった。児童会でも今後の課題として取組を行う予定だが、交通指導を行ってくださっている方などへの挨拶はしっかりできるよう、学校と家庭、両方で指導を継続したい。

※特記事項 なし

記載責任者（竜王東小学校 学校関係者評価委員） P T A会長 塩谷正裕 印